

農地・水・環境保全向上対策

～深めよう、地域のきずな！ 発信しよう、地域の魅力！～

農地・水・環境保全向上対策「みえのつどい“2012”」開催



鈴木三重県知事挨拶

平成25年1月14日(月・祝)三重県総合文化センターにおいて、「農地・水・環境保全向上対策」に取り組んでいる活動組織及び県内外の関係者約500名が一同に介し「～深めよう、地域のきずな！ 発信しよう、地域の魅力！～」をテーマに農地・水・環境保全向上対策「みえのつどい

る、年々続け質も上がってきた、自らの手で地域を良くし絆をつくって行くことが大事である。」との挨拶があり開会を宣言された。

来賓としてご臨

席された橋本晃東海農政局整備部長と吉川新三重県議会議員から挨拶を頂いた。



講演会の様子

“2012”を開催した。

本つどいも今回で5回目を迎え、活動組織が農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図る活動を、より一層活発に取り組んでもらえるよう、前回好評だった座談交流会による参加者の活動意見交換等の参加型イベントや、これまでの5年間の実績をより多くの人々へ情報発信し、様々な方々と交流し情報交換の場を提供し、併せて農村きずな力を都市へ発信する新しい試みとして都市住民へ農産物無料配布を盛り込み開催された。

今回は2部構成で、第1部の中ホールでは、400名の参加者を得て開会にあたり鈴木英敬三重県知事と農地・水・環境保全向上対策協議会長の梶田郁郎農林水産部長が紹介され、代表として鈴木英敬知事が「活動に携わられた皆さん、それをサポートしていただいた地域の関係者の方々にお礼と感謝の意を述べられ、三重県の農業、日本の農業を支える非常に重要な活動であると認識している、6年目を迎え県内2,000集落の内、4分の1の502集落で現在315組織、約15,000haの農地をこの事業で支えていただいでい

引き続き、優秀活動団体の表彰に移り表彰を受ける4団体の活動内容と受賞理由が映像等で紹介され、審査員の講評の後、鈴木知事より施設部門、農村環境部門、コミュニティ部門、パブリシティ部門の賞状と記念品が授与され、鈴木知事、梶田会長を囲んで受賞者代表の記念撮影が行われた。

その後、基調講演に移り「みえの田舎は宝の山」と題して「NPO法人えがおつなげて」代表理事 曾根原久司氏により講演があり、都会の若者ボランティアと耕作放棄地を開拓したこと、大手企業の社会貢献事業と連携して荒れた棚田を再生した話をされ、農村資源を都市のニーズと結びつければ大きな産業や雇用を生み出す事ができる。三重県は日本一生産量を誇れる物が有り、観光客も多く新しい芽が有る等、都会と田舎を結びつけるノウハウを自らの体験や実績に基づき講演された。

終了後、参加者は中ホールエントランスの関連企業PRコーナーで新しい情報を得たり、レセプションルームで表彰を受けた組織や、優秀活動賞推薦を受けられた組織のパネル展示をはじめ、宮城県内の東日本大震災からの農業・農村復旧・復興状況パネル全国リレー展示等を見学した。

第2部の座談交流会では、4会場に分かれワールドカフェ

方式で活動組織のメンバーにより約240名が班ごとに活動の良い事や悪い事、今後の展開について提案を出し合い、その後各班で発表を行った。



座談交流会の様子



表彰された活動組織